

「西部日本海域の中心都市」実現へ

広報 いずも

第24号 平成18年(2006)3月9日発行

「真に心豊かで活力のある21世紀都市出雲の創造に向け、明るい未来への確信をもって、力強く前進、前進また前進しようではありませんか」。2月22日、出雲市議会定例会が開会し、その冒頭で西尾市長が平成18年度の施政方針を表明しました。今回は、グランドデザインの6つの柱に沿って、主な重点施策を紹介します。

平成18年度市長施政方針演説

施政方針全文は出雲市のホームページ市長のサイトに掲載しています。



山陰自動車道出雲インターチェンジ(仮称)の予定地周辺に整備予定の新ビジネスパーク(予想図)

重点施策

21世紀産業都市の創造

新産業の創出

一層の企業誘致を促進するため、新ビジネスパーク整備を具体化します。

新エネルギー産業の創出に向け、「新出雲風力発電所(仮称)」、事業や「出雲バイオマスエネルギープラント事業」を支援します。

地場産業の振興・発展

中心市街地の街路の整備、河川の再生整備、空き店舗の有効活用などに取り組みます。

ぶどう、ブロッコリー、キク、和牛などの特産品の一層の振興を図るほか、グ

重点施策

21世紀出雲神話 観光大国の創造

出雲神話観光大国の創造

「出雲大社前町」の再興に向け諸準備を強力に進めます(詳しくは4~5ページ)。

「出雲弥生博物館(仮称)」の実施設計、「田儀櫻井家たたら製鉄遺跡」など、新たな歴史資源の保存・活用に向けた調査を進めます。

観光戦略を支える人材育成として、「出雲文化観光学院(仮称)」の創設も検討します。

目次は裏表紙